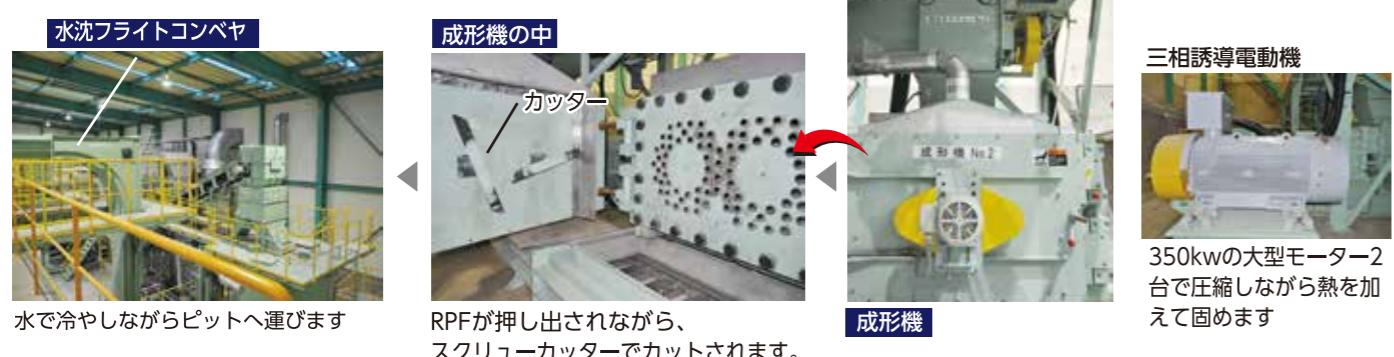
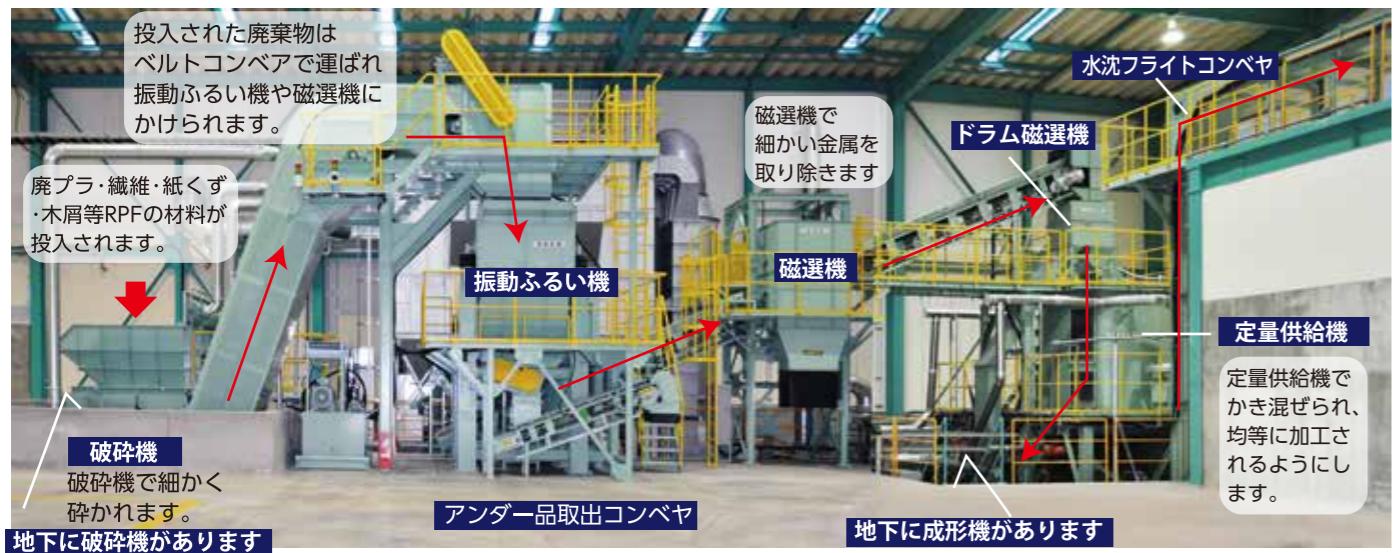


RPF製造プラント

袋井RPF製造工場 生産の流れ



RPFの原料を排出される業者様を募集中！

- 焼却処理と比較した場合、コストダウンメリットがあります。
- 廃棄物の流れを明確にできます。不法投棄の心配がありません。
- 環境への取り組み姿勢から企業のイメージアップにつながります。



☎ 0120-01-5255

本社営業までお問い合わせください

株式会社リサイクルクリーン

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41
E-mail. info@recycle-clean.co.jp



RPF

Refuse Paper & Plastic Fuel

固体燃料RPFの製造を通して、
地球環境に貢献します。

100% recycled



株式会社リサイクルクリーン

品質、能力、環境…。あらゆる面でメリットがあるRPFは、これからの時代の固形燃料です！

RPFの主な特徴

RPFは再利用困難な廃プラスチックと木くず・紙から作られる固形燃料！資源のリサイクルに貢献する循環型エネルギーとして注目されています。

廃棄物処理コストを削減

従来埋め立て費用がかかっていた産廃をRPF化することにより、処理費用を削減することが可能となります。

排ガス対策が容易

RPFは不燃物混入が少ないので、設備にもたらされる塩素ガスのトラブルが回避でき、ダイオキシンもほとんど発生せず安心です。

環境に対する貢献

RPFは化石燃料と比較し、二酸化炭素排出量を33%削減できます。CO₂排出量を抑制し、地球温暖化防止にも貢献します。

高い熱量

RPFは高い熱量を持ちます。石炭相当の燃焼力！石炭と同等の熱量6,000～7,000キロカロリーを誇るため、化石燃料の替わりとして用いる事ができます。

取り扱い、運搬、貯蔵が容易

RPFは、直径3センチ程度の円柱状。一定形状で密度の高い固形燃料で石炭と同様の利便性があり、取り扱いや運搬・貯蔵性にも優れています。

低価格なので経済的

RPFの価格は、石炭のおよそ3分の1。石炭などの化石燃料にかかっていた費用負担を大きく軽減することができます。

RPFの主な原料

産業廃棄物の中でも製紙原料になりにくい特殊な紙類、マテリアルリサイクルが難しいプラスチック複合素材が原料になります。



廃プラスチック類



木くず



紙くず



藁畳・スタイロ畳



繊維くず

【原料となる主なプラスチック類】

ポリエチレン(PE): 食品容器、包装用フィルム、買物袋、ポリタンク、電線被覆材、通箱、アルミ蒸着紙
ポリプロピレン(PP): 薬品の容器、結束ひも、お菓子の包装袋、DVD・CDケース、通箱、アルミ蒸着紙
ポリスチレン(PS): 家電製品(TV・PCの筐体等)、食品用トレイ、発泡スチロール、プラスチック、DVD・CDケース
ポリエチレンテレフタレート(PET): PETボトル(清涼飲料、酒類の容器)、フィルム、衣料用の繊維
ポリカーボネート(PC): AV機器・携帯電話・コピー機等の筐体、旅客機の客室窓
アクリルブタジエンスチレン(ABS): 自動車部品、家具、テレビキャビネット
ナイロン: 合成繊維
アクリル: レンズ
ポリウレタン: 自動車のシート、クッション材、断熱パネル、防水材

【原料となる主な紙類】

特殊紙: 加工紙、ラミネート紙、紙製容器等、アルミ蒸着紙、感熱紙、カード紙、OHP
粘着テープ: ラベル、ステッカー、ガムテープ
ロール状紙: 切り落とし紙、フィルム類
平判紙: 切り落とし紙、フィルム類
紙製容器包装: 容器包装リサイクル法における分別基準適応物
※汎用プラスチック(低密度ポリエチレン(LDPE)、高密度ポリエチレン(HDPE)、ポリプロピレン、塩化ビニール、ポリスチレン)のうち、塩化ビニール(PVC)はダイオキシン類が発生するため原料にできません。
※上記以外はお問い合わせください。

RPF化の流れ

お客様のリサイクル率アップと
廃棄物処理コストの削減に貢献します



処理費が
半分程度に！

従来なら埋め立て処理されていた産業廃棄物も、RPF化することにより半分程度のコストで処理することが可能になります。

排出される形状・素材・荷姿・量により単価が異なります。
本社 053-925-1366 までお問い合わせください。

廃棄物



リサイクルクリーンが、
適正に収集運搬業務を行います



マテリアルリサイクルが困難な廃プラスチック類や紙くず等でもRPF化が可能です。種類、排出量に応じて最も効率的な車両をご用意し、適正に収集運搬業務を行います。

回 収



持ち込みもOK

袋井新工場は168t / 日の生産能力！最新設備を導入したRPF製造工場です



可燃物の産廃を加熱・圧縮して、高品位な固形燃料を安定生産致します。また蛍光X線分析器を導入し、製造日毎にRPF原料及び製品を分析して自社データを蓄積しています。

RPF製造

●袋井新工場 2015年2月完成

168 t / 日・7 t / 時間(24時間稼働)

※蛍光X線分析器を導入。製品の品質管理を徹底しています。

※バリオセパレーター(3種選別機)により高度選別を行っています。

*3種とは計量物、重量物、微粒物

再生可能エネルギーとして地球環境に
貢献します



製紙工場の 発電施設



電力など
エネルギー

RPFの使用は、CO₂排出量の削減にも
つながります



化石燃料を使用される企業様にとって、RPFの使用はCO₂排出量の削減につながります。現在、製紙工場、製鋼メーカー様で活用されています。

燃 料



RPFは
「再生可能エネルギー
固定価格買取制度(FIT)」の
認証を得ています！

マテリアルリサイクルが困難な産廃が
固形燃料として生まれ変わります！



石炭相当の燃焼力！
石炭と同等の熱量6,000～7,000キロ
カロリー！！需要が高まっています。

燃料にRPFを使用すれば再生可能エネル
ギーとして電力会社に売電できます。

●大川工場

24 t / 日・1 t / 時間(24時間稼働)

●桜台工場

20 t / 日・2.5 t / 時間(8時間稼働)